

地 域	庄内	団体名	清川地区振興協議会
活動地	庄内町清川		

団体紹介



内陸と庄内の出入口にある「清川」は、最上川の水駅で発達した宿場町です。そのため、人の往来が盛んで、今でも歴史的価値のある旧跡・文化・遺品が数多く残っており、又、芭蕉上陸の地、庄内軍と新政府軍が戦った戊辰戦争の地、明治維新の魁と言われる清河八郎を輩出した所でもあります。

清川 14 集落の自治会長、各団体の長をもって構成している清川地区振興協議会は、地域の活性化を図るため、関係団体等相互の交流を促進し、地域づくりの推進を目的に、地域の環境整備や地域の将来ビジョンの策定、関係機関に対する要望活動、地域行事の活動等を行っているコミュニティ組織です。

地区住民主導の下、歴史資源を地域づくりのキーワードに掲げ、町に提案した「清川歴史公園基本構想」は、平成 31 年 4 月、庄内藩清川関所として復元。「歴史の里清川」を体感できる街歩きの拠点施設として、賑わいを創出しています。

活動内容 ———— 歴史の里清川「御殿林」の再生を目指して ————



初日参加の皆さん

＜草刈等の環境整備＞

開催日：令和3年6月20日（日）、9月19日（日）

- 毎年、地区民が散策路整備として取り組んできた支障木

撤去、草刈り等の環境整備活動に、今年度は 61 名の参加を得て、実施しました。

＜森林環境学習会＞

開催日：令和3年7月24日（土）、10月25日（月）

- 年 2 回の開催となった学習会は、「森林のはたらきと役割」をテーマに、小・中学生と一般住民延べ 44 名の皆さんが参加されました。

＜ヤマユリ植栽＞

開催日：令和3年10月25日（月）

- 公民館事業との連携により小学生 15 名、地区住民 13 名が参加し、散策路に日本固有種「ヤマユリ」を植栽しました。



＜木材チップ敷設による散策路路面整備＞

開催日：令和3年7月24日（土）、25日（日）

- 戊辰戦争の古戦場であり、身近な里山でもある「御殿林」散策路に、足に優しい木材チップを敷くため、建設会社社員、中学生等もボランティアとして加わり、79 名の皆さんが応援に駆けつけてくれました。



立川中学生もがんばりました



チップを平らにする作業



森林環境学習会



作業後の散策路



草刈り活動



ヤマユリ植栽

活動を行っての感想

今回の事業は、里山の保全活動と森林環境整備に加え、後世に引き継ぐ貴重な歴史的文化遺産を守る活動でもあります。御殿林は、幼い頃、自然とのふれあい活動や地域の歴史を学ぶ林間学校の舞台となった地でもあり、地元住民にとっては郷愁を抱く癒しの空間です。

林内は、鳥の音がさえずり、様々な植物と春には笹タケ、ミヤマラクサ、シドケ、ミズ等の山菜が自生し、夏は避暑地と化します。

地域住民はもとより、歴史散策に訪れる皆さんが自然に親しみ、その価値を再認識し、改めて里山の良さを実感できるよう、歴史の道にふれあう機会を提供し、歴史と文化、観光交流、体力づくり等を融合した森づくり活動の実践に努めて参ります。